人文社会科学部後援会事業実施報告書（1－49）

多文化コミュニケーションゼミナールの常総市でのゼミ合宿

申請教員：横溝環

学生参加者数：12 名（交通費の補助申請 10 名）

1．水海道中学夜間学級との合同宿泊学習

日時：9 月 18 日（金）午後～19 日（土）午前

活動場所：水海道あすなろの里

内容①：防災カルタ等を通しての交流（9 月 18 日（金）19 時 30 分～21 時）

水海道中学夜間学級の生徒の皆さんとゼミ生とで交流を図った。夜間学級からは約 30 名（10 か国）の生徒の皆さんが参加した。グループでお互いの学校生活やお勧めの場所の紹介をした後、防災ポスター作成の準備として防災カルタを行った。



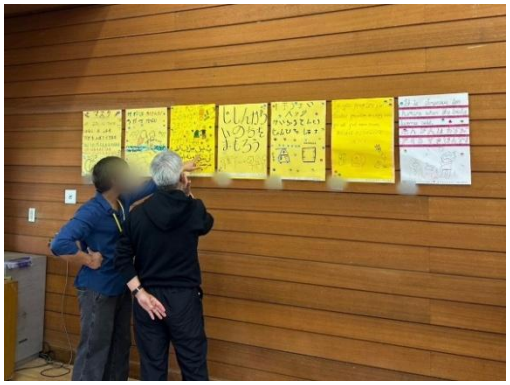


内容②：防災ポスター作成支援（9 月 19 日（土）9 時～11 時）

常総市の多文化共生推進員養成事業の一環として、夜間学級の生徒の皆さんが母語とやさしい日本語による防災ポスターを作成した。学生たちは準備とサポートを推進員の方々と共に行った。完成したポスターは市役所および JOSO ワールドフェスタにて展示される予定である。









※　水海道中学夜間学級との本活動は、東京新聞（２０２６年 10 月２日（金）18 面）で取り上げていただきました。

２．リクシル石下工場の技能実習生の皆さんとの交流

日時：９月 19 日（土）15 時 30 分～17 時

活動場所：リクシル石下工場

内容：11 月に開催される JOSO ワールドフェスタで共にブースを開くため、その顔合わせとしてリクシル石下工場の技能実習生（インドネシア人４名）と交流を図った。JOSO ワールドフェスタでは、技能実習生を対象としたアンケート調査の結果をもとにしたクイズを提示、それを通して来場者の方々に実習生の生活や思いについて紹介する予定である。

地域で暮らす外国籍住民の方々との貴重な交流により、学生たちは多くを学ぶことができました。後援会からのご支援に心より御礼申し上げます。









